

# 京都府漁海況情報

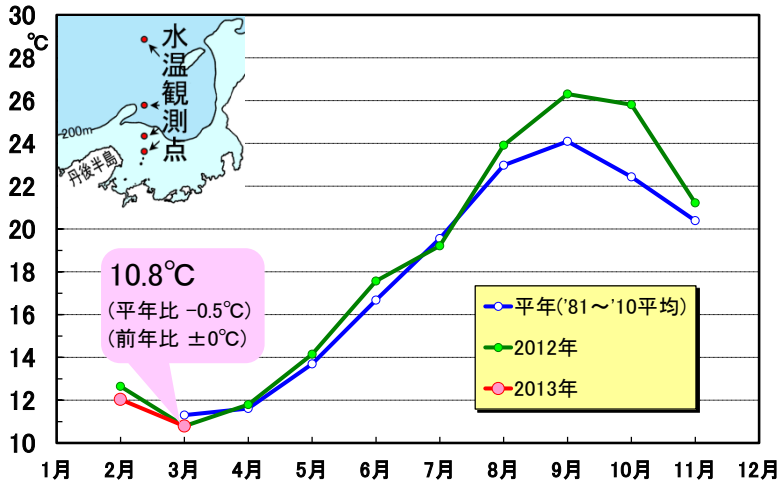
## 海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

### 【現況】

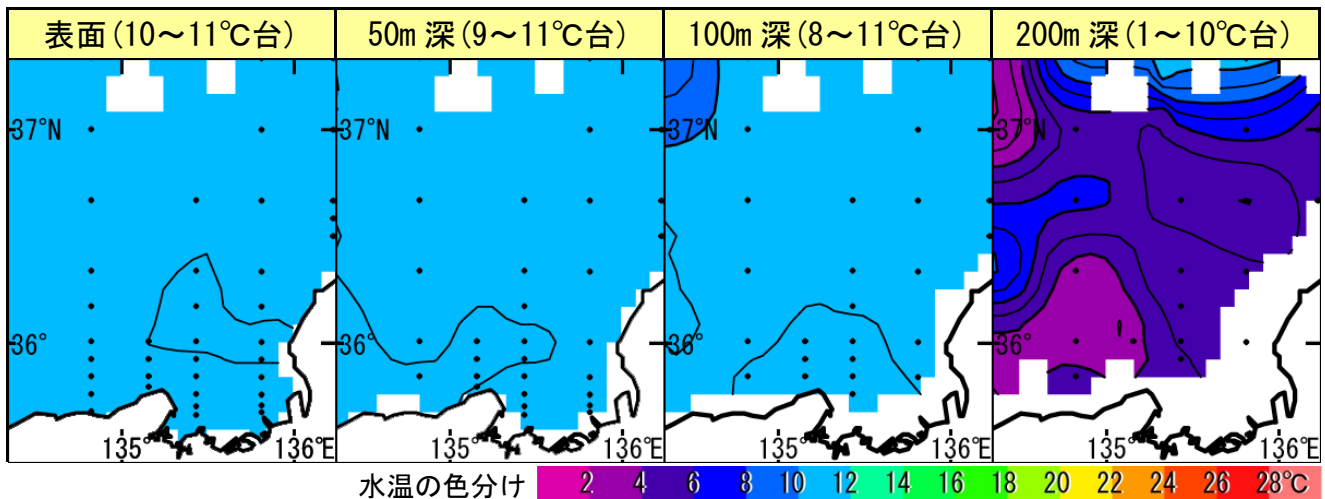
3月上旬における京都府周辺の表層水温は、前年並みおよび平年よりやや低めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2013年3月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



### 【今後の見込み】

資料元：気象庁，(独)日本海区水産研究所

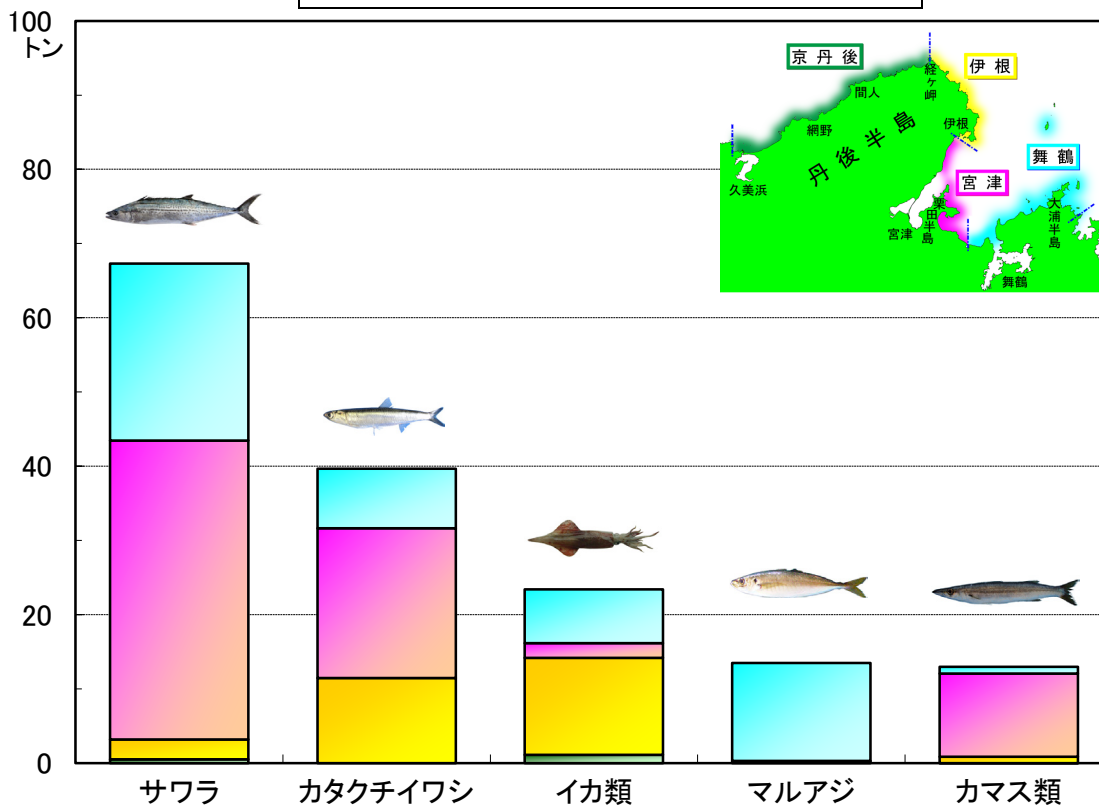
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み～平年より低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み」で推移する見込み

# 漁模様 ～2013年2月～

## 【定置網漁業】

サワラが例年をやや上回る水揚げでした。全体の水揚量は、平年の5割強および前年の7割とふりませんでした。

2013年2月の地域別漁獲量(上位5魚種)

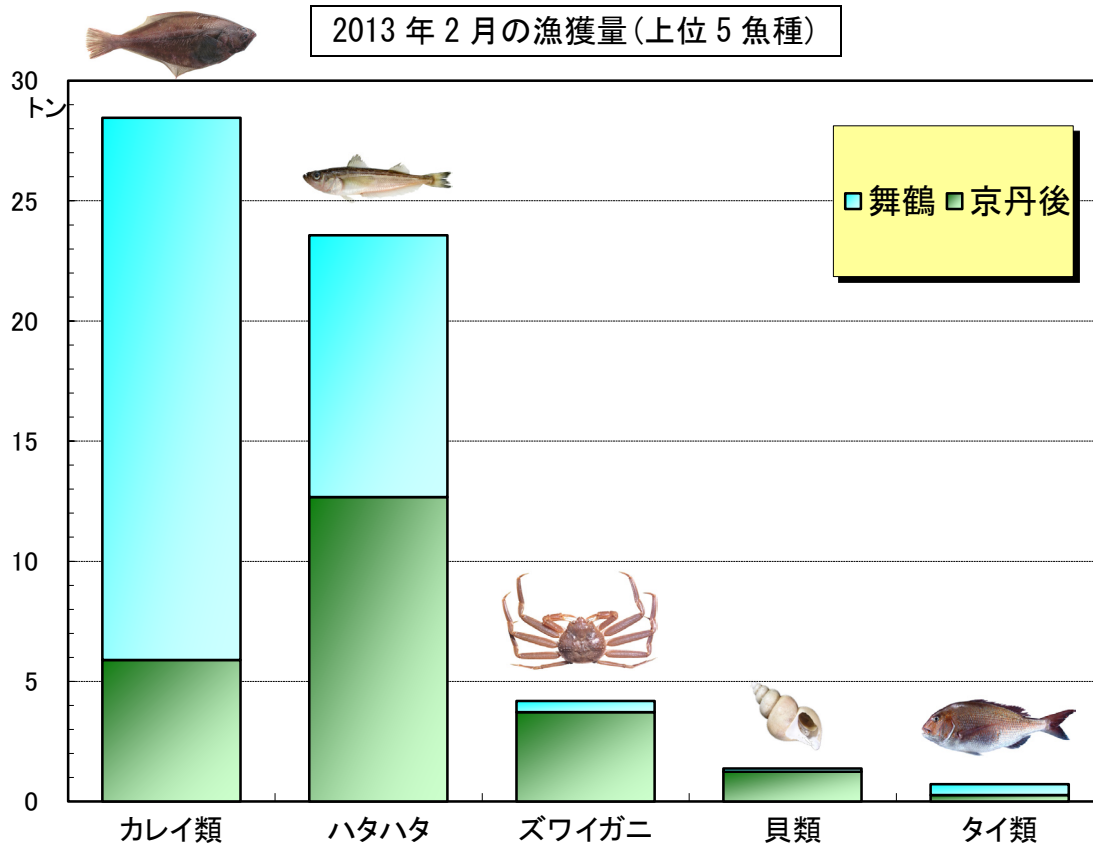


2月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	67.3	50.1 (134%)	51.3 (131%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 42~50cm 主体)が9割強, より大型のさわら銘柄は1割弱でした。 <カタクチイワシ> 大きさは, 体長3cmのかえり銘柄から体長14cm台のたれ銘柄まで様々でした。 <イカ類> ヤリイカ(冬いか)が18.8トン, スルメイカ(主体は胴長3~5cm台のしんこいか銘柄)が2.8トン, ケンサキイカ(白いか)が0.5トンなどでした。
カタクチイワシ(たれ)	39.7	101.8 (39%)	65.6 (60%)	
イカ類	23.4	14.3 (163%)	23.8 (98%)	
マルアジ(青あじ)	13.5	0.9 (1547%)	7.9 (171%)	
カマス類	13.0	4.4 (296%)	1.1 (1176%)	
カナガシラ	11.7	16.9 (69%)	13.9 (84%)	
マアジ	7.1	52.8 (13%)	81.8 (9%)	
スズキ	5.5	6.8 (81%)	4.5 (122%)	
ブリ	5.2	12.8 (41%)	18.1 (29%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	3.8	4.4 (87%)	9.5 (40%)	
その他	33.6	49.7 (68%)	134.4 (25%)	
合計	223.8	314.9 (71%)	412.0 (54%)	

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

全体の水揚量は、前年の7割弱および平年の6割弱と少漁気味でした。

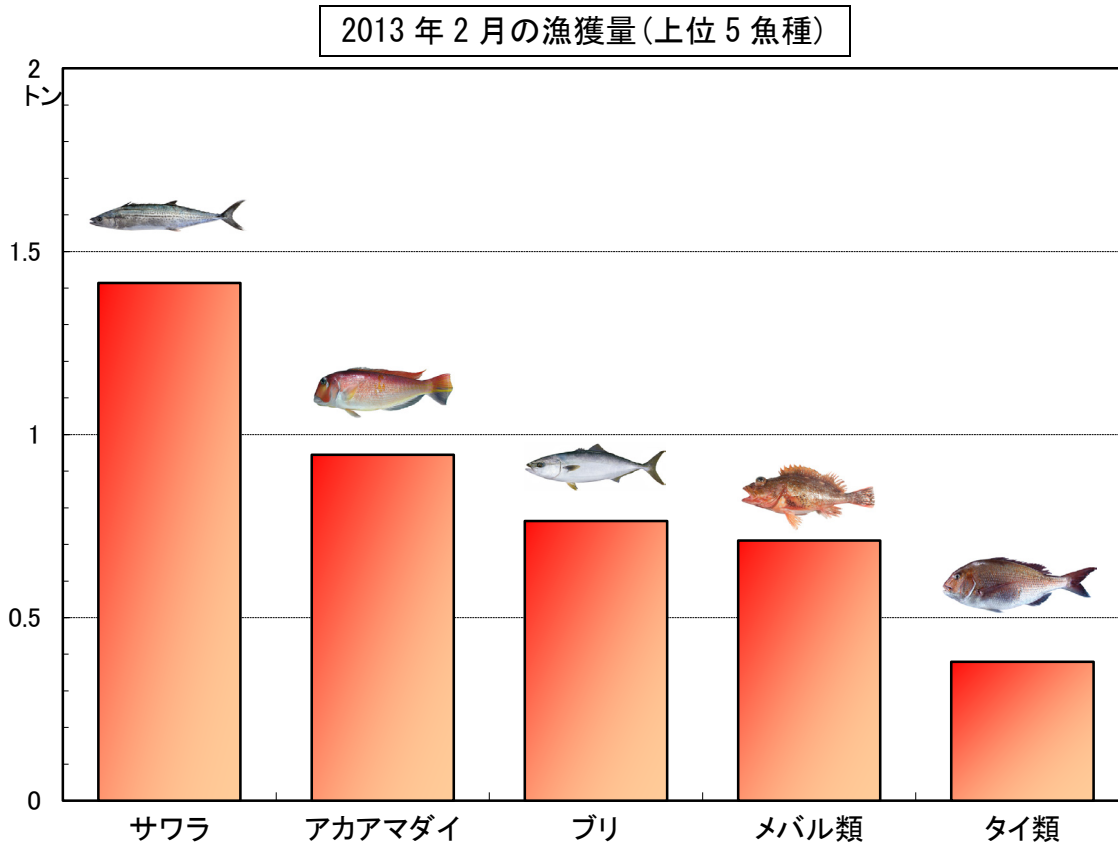


2月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	28.5	37.8 (75%)	39.2 (73%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が25.1トン、ソウハチ(えてがれい)が1.7トン、ヒレグロ(黒がれい)が1.5トンなどでした。
ハタハタ	23.6	40.4 (58%)	48.7 (48%)	
ズワイガニ(雄がに)	4.2	5.4 (78%)	10.8 (39%)	
貝類	1.4	1.3 (105%)	1.3 (107%)	
タイ類	0.7	1.6 (44%)	0.7 (109%)	
エビ類	0.5	0.5 (98%)	0.8 (61%)	
タコ類	0.5	0.6 (78%)	1.2 (38%)	
アンコウ	0.4	0.6 (79%)	0.5 (84%)	
タラ類	0.3	0.1 (394%)	0.1 (229%)	
ニギス(沖きす)	0.3	1.3 (22%)	1.2 (24%)	
その他	1.4	2.5 (57%)	3.0 (48%)	
合計	61.8	92.1 (67%)	107.6 (57%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、前年の8割および平年の半分以下と少漁気味でした。



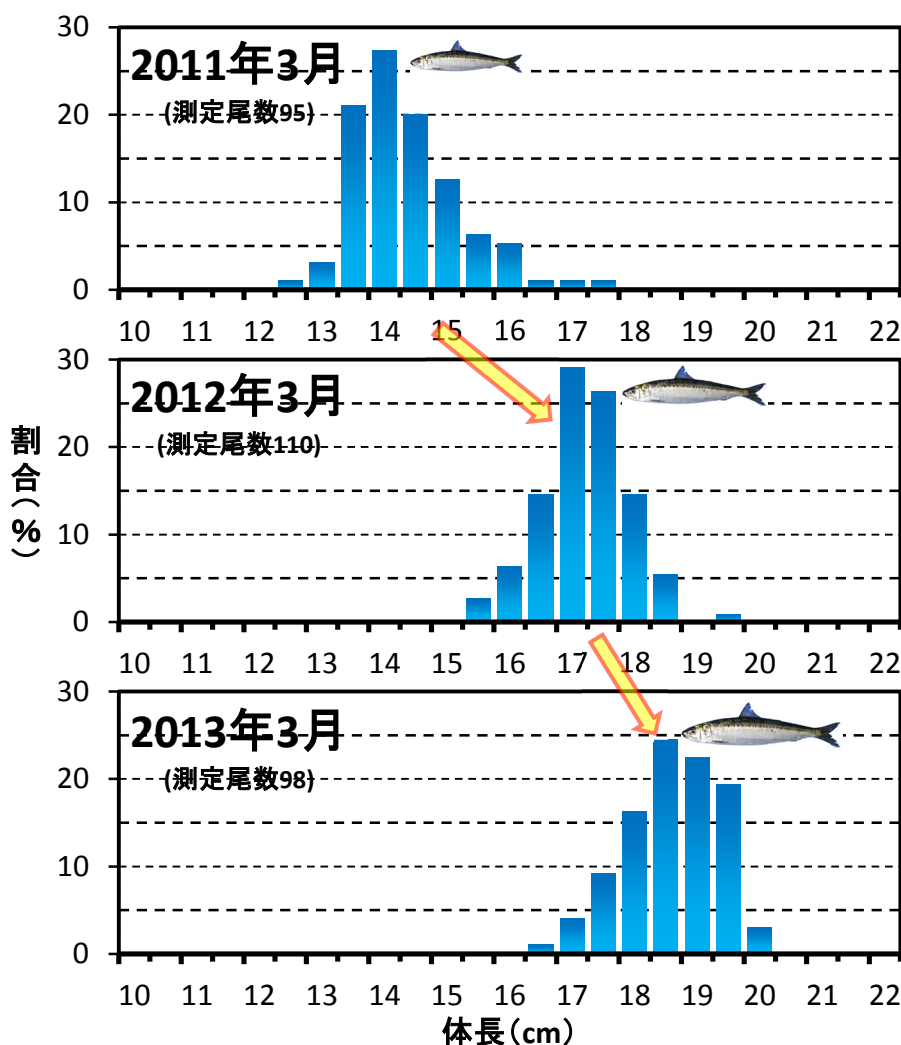
2月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	1.4	1.7 (84%)	2.1 (68%)	＜サワラ＞ さごし銘柄が8割強、より大型の さわら銘柄は2割弱でした。
アカアマダイ(ぐじ)	0.9	0.8 (114%)	1.0 (95%)	
ブリ	0.8	1.1 (72%)	5.2 (15%)	＜ブリ＞ つばす銘柄が8割弱、はまち銘柄 が2割、ぶり銘柄とまるご銘柄 が若干量でした。
メバル類(もいお)	0.7	0.8 (94%)	0.7 (106%)	＜タイ類＞ マダイが6割弱、レンコダイが4 割弱、クロダイが若干量でした。
タイ類	0.4	0.7 (55%)	0.9 (43%)	
イカ類	0.4	0.1 (253%)	0.5 (66%)	＜イカ類＞ ヤリイカ(冬いか)が主体でした。
マルアジ(青あじ)	0.2	0.8 (24%)	0.3 (62%)	
カレイ類	0.1	0.2 (40%)	0.1 (59%)	
スズキ	0.1	—	—	
メジナ(つかや)	0.1	0.1 (55%)	0.1 (113%)	
その他	0.8	1.0 (76%)	2.2 (34%)	
合計	5.8	7.3 (79%)	13.1 (44%)	

平年は過去10年平均

## 【トピック ～マイワシの漁況～】

若狭湾から山陰の沖合では、今年の2月下旬以降にマイワシがまき網船で水揚げされていましたが、3月に入って丹後の定置網でもまとまり出しました。3月上旬の時点で183トン(速報値)が水揚げされ、すでに平年同月比の約8倍に達しています。

マイワシの大きさは、沿岸の定置網と沖合のまき網ともに体長18～20cmの中羽銘柄が主体でした。これらは、主に2010年産まれの3歳魚とみられ、近年では最も豊度が高い群れとされます(水産総合研究センター調べ)。2010年産まれのマイワシは、丹後の海でも2011年と2012年の春先にそれぞれ体長13～15cm(1歳時)と16～18cm(2歳時)の大きさを多く獲られました(下図)。



2011年～2013年の3月に丹後の定置網で水揚げされたマイワシの体長分布。

マイワシ資源の動向については、水産総合研究センターが増加傾向と予測しており、今後の推移が気になるところです。